

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」

仙台青葉学院短期大学大学 実施報告書



実施主体 こども学科

実施内容 平成25年11月16日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

こども学科の学生全員が、講師の先生から児童虐待についてお話を伺い理解を深めた。さらに、オレンジリボン運動の意義や必要性についても学習した。「せいよう祭」(学園祭)に向けて、実行委員を中心に学習会を重ね、「せいよう祭」における啓発方法を考え、学生全員が胸につけるオレンジリボンを手作りした。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

「せいよう祭」当日は細川ゼミと守ゼミが主に担当し、喫茶コーナーを設けた。そこは、ゆったりとまた、ほっとできるような場となるよう考えた。そのような環境を整えるために、机やいすの配置を考え、子どもたちが来場しても楽しめるようにゲームも用意した。そのほっとする環境の中で、来場して下さった保護者の方や高校生にひと休みしていただきながら、オレンジリボン運動について説明し、パンフレットとオレンジリボンを配布した。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

今回、せいよう祭(学園祭)においてオレンジリボン運動を実施することになり、児童虐待に関して勉強するきっかけとなった。当日は、高校生等来場者に話をすることもでき、少しではあるが、啓蒙活動ができたのではないかと感じている。

オレンジリボン運動をおこなったことにより、児童虐待等の新聞記事や雑誌を今までより意識して読むようになった。

こども学科だからこそ取り組むことができよかったと思う。今年だけの活動ということではなく、せいよう祭(学園祭)において、今後も続けていくことが大切なのではないかと考える。



胸に
手作りの
オレンジ
リボンを
つけました